

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2022年1月 検針分)

2021年8月～2021年10月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2022年1月 検針分の単位料金は、2021年12月 検針分 に比べて、1m³(45MJ)当り
3.79 円(消費税込)、標準家庭(26m³)では月額 99 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	2021年12月 (A)	2022年1月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	234.56	238.35	3.79
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	175.50	179.29	3.79

●平均原料価格

	単位	2021年7月 ～ 2021年9月	2021年8月 ～ 2021年10月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	58,000	61,940	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	73,360	80,200	
平均原料価格	円/トン	59,020	63,120	46,100

平均原料価格=LNG平均価格×0.9541+LPG平均価格×0.0502

(10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \quad (\text{平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき}) \\ &= 63,120 - 46,100 = 17,000 \text{ 円/トン} \\ &\quad (100円未満端数切捨て) \end{aligned}$$

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

$$\text{調整単位料金} = \text{基準単位料金} + 0.084 \times \text{原料価格変動額} \div 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \quad (\text{小数点第3位以下の端数切捨て})$$

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2022年1月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	222.65	238.35	15.70
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	163.59	179.29	15.70

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2021年12月	(B) 2022年1月	影響額 (B)-(A)
26	6,733	6,832	99

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)